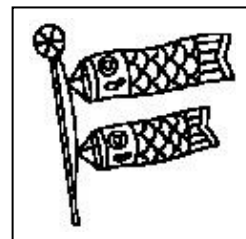


# ぷらう 56号



発行：TEACCH プログラム研究会

## 会長のつぶやき

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

発達障害の認知度がアップし、法整備も進み、さまざまな支援サービスが提供されるようになった。平成 24 年に度児童福祉法が改正された。その結果、「放課後等デイサービス事業」や「児童発達支援事業」については主体となる法人が営利企業や NPO 法人も可能となった。そのこと自体は歓迎すべきことだと思う。利用者や保護者のニーズが多様であることなどから、提供される支援の内容は多岐にわたるようになった。そのことも「進歩」だとは思う。

現在の問題点は度々新聞などでも報道されているように、また TEACCH 研の皆さんの多くがご存じのように事業所により支援の質に大きな格差があるのが問題である。余談だが、この件がテレビで報道されているのを見たことはない。現在、放課後等デイサービス事業については、総費用額が障害児支援全体の 6 割以上を占めているが、支援の質の向上よりも利潤の追求が主目的となっている事業所や障害特性を考慮していない不適切な支援を行う事業所が増えているように思う。

以前は、「経験不問」で「誰でもできる」から「放課後デイサービス」をやりませんか？という案内が頻繁に届いた。その後、厚生労働省も、配置職員の基準の厳格化やガイドラインの作成などの対策はとっているが、実際の利用者から得る情報では十分な支援をしているとは言えない事業者も、まだまだ存在するように思う。

ネットで「放課後デイ」で検索すると沢山の事業所がヒットするが、その宣伝文に「TEACCH」という言葉が沢山でてくる。TEACCH 研でもよく見かける事業所も多いが、聞いたことのない事業所はそれ以上に多い。ざっとみたところ、頻出するのは「TEACCH」「ABA」「SST」「感覚統合」で、「TEACCH」も言葉としては随分浸透したと思う

TEACCH 研としては「TEACCH」という言葉を PR に使う以上、本当に TEACCH の考えを取り入れた支援をしているのかが気になる場所である。

ただ、本当に問題なのは「TEACCH」がどうこう以前に、自閉症特性への配慮がなすすぎる事業所が多いことだ。もっともこれは公立の学校や、成人の施設でもよく感じることでもある。公立でも民間でも、子どもでも成人でも、学校でも福祉施設でも、日々どのようなサービスが提供されているのかサービスの質を透明化するための、取組みが今以上に必要のように思う。「児童デイ問題」を営利事業所特有の問題と片付けずに自閉症支援全体を見直すことに繋げたい。

# 平成 29 年度 第 1 回本部理事会 議事録

日 時 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 9:15~

場 所 相模女子大学 1113 教室

参加者 村松 宇山 諏訪 笠合 黒田 片山 堀内 中井 増本 小川 藤井 小沢 森田(隆)  
森田(礼) 高原 内田 瀬尾 三ヶ田 下田

## 議案 1 平成 29 年度理事及び役割の確認

- 新常任理事(講師招へい事業担当)として、黒田美保氏が承認されました。
- 新理事に、片山氏(北海道支部)、堀内氏(東京支部)、小沢氏(京都支部)が承認されました。

## 議案 2 平成 28 年度活動報告

- 事務局より報告 ※詳細は総会報告を参照

## 議案 3 平成 28 年度会計報告、特別会計報告

- 会計担当より平成 28 年度会計報告。 ※詳細は総会報告を参照
- 会費収入 600 円程度が合わないが、土倉事務所に確認が取れていないため、次年度で調整する。
- 土倉事務所とのやりとりに時間がかかるなどの課題があり、会計管理が円滑に進まない等の状況がある。今後さらに土倉事務所とも調整を行うが、改善が無い場合には契約事務所を変えることも考えられる。次回理事会 6 月(京都)でも要検討。
- 会計担当より、特別会計の報告。 ※詳細は総会報告を参照
- 積立額と支出額から換算すると今後、予算がなくなっていく可能性もあり、積立額の変更など検討を要する。

## 議案 4 各支部事業報告、会計報告

- 各支部より 28 年度事業、会計、次年度計画等について報告。

## 議案 5 日本自閉症協会第 24 回全国大会 in ながの 活動報告

- ポスターセッションとして初参加。2 年に一度の企画のため、30 年度にも声がかかれば参加を検討。

## 議案 6 自閉症カンファレンス NIPPON2016 参加報告

- 研究会の紹介ブース(ポスターセッション)を設置。各支部紹介パンフレット等を設置。
- 会員数の減少への対策として、自閉症カンファレンスで行う広報が効果的だと思われる。
- 同じセットで、アメニティーフォーラムや JDD ネットの全国大会等にも展示できるとよいのではないか。
- 会員数の減少などの課題に対し、今後、会の発展を目指して研究会としてどのような方針を持って取り組んでいくか、検討が必要ではないか。
- 各支部の世話人の人数及び、常時動いている中心的なメンバーの人数を確認。少ない人数で苦勞して運営している実態もあるのではないか。若い世代の会員を増やしていく、育てていく等、会の役割や目的をふまえ、今後の活動を整理して取り組んでいく必要がある。
- 各支部から案を持ち寄り(事務局取りまとめ)、次回理事会も含め継続協議とする。
- 所属支部以外の地域の支部の学習会等に、研究会会員として参加できるのか、それに関わって各支部の活動をリアルタイムで共有できる仕組み等も協議、確認したい。(宇山理事より)

## 議案 7 トレーニングセミナー 2016 in 大分 報告

- 受講直後のアンケートと、受講後一カ月経過してからのアンケートを比較分析した。
- 残金の本部への返還について確認。支部等の持ち出し分を整理し、残りを戻すということで総会でも報告する。
- 次回開催地は、各支部からの立候補によって開催する。

## 議案 8 29 年度活動計画

- 平成 30 年度の計画ではアメニティーフォーラム（2 月）や JDD ネットの年次大会（12 月）等への参加を検討及び、先方とも交渉。

## 議案 9 コラボレーションセミナー in 京都 2018

- テーマの決定に関して、黒田常任理事が渡米した際に、ローラ・クリンガーと相談できれば。案としては、成人期の支援。就労等、さらに詳細なテーマについて、意見をメーリングリスト等で集約したい。
- シルクホールが建替えにより使用できないため、京都烏丸コンベンションホールを会場とする。
- 大阪大学にローラ・クリンガーの招聘を打診したが見合わせたいとの返答。旅費等の負担を軽減するために、コラボセミナー日程の前後日程で、他の機関や団体のオファーを打診・調整していく。
- 予算も含めたおおよその計画は承認されました。

## 議案 10 平成 29 年度予算案

- 平成 29 年度予算案 ※詳細は総会報告を参照
- コンビニ払い委託料は前年度も予算として計上されているが、請求がないので、土倉事務所に確認。
- アメニティーフォーラム参加等、新しい動きが案として出ており、今後広報費の増額が考えられるが、自閉症協会の全国大会は隔年開催のため、平成 29 年度の広報費額は据え置き。
- 平成 29 年度特別会計予算案 ※詳細は総会報告を参照

## 議案 11 実践研究大会 2019 開催地

- 本理事会で候補地（2、3 支部）を決め、候補地となった支部で持ち帰ってさらに検討する。担当支部地域の啓発、活動の発展などを見据え、前向きに検討してほしい。
- 開催時期、他団体との共催などの調整を含めて、各支部で実施を検討し、次回理事会で協議。全支部でそれぞれ、実施案を持ち寄る。事務局がメール等で集約。

## 議題 12 平成 29 年度総会議案

- 活動報告、会計報告、活動計画、会計予算案、コラボレーションセミナー等が議題。
- 会則について、事務局（熊本支部）の住所が、震災のために変更となったため修正。

## 議題 13 ぷらう 56 号について

- 記事、記載内容案について。
- トレーニングセミナー報告原稿は、大分県支部、実践報告会報告原稿は、鳥取県支部、石川県支部が担当する。

# 平成 29 年度 TEACCH プログラム研究会 総会報告

日時：平成 29 年 2 月 19 日（日）12 時 00 分～

場所：ユニコムプラザさがみはら

## 議案 1 平成 29 年度理事および役割の確認

☆…新理事

支部	平成 29 年度の役割	理事氏名
常任	会長 講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長 講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長 HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
常任	広報・啓発担当	笠合 竜明
常任	講師招聘事業	☆黒田 美保
北海道		☆片山 智博

東京		☆堀内 太郎
神奈川		五味 純子
山梨		中井百合子
石川		益本 尚子
愛知		小川 真紀
滋賀		鎌田 博之
京都	講師招聘事業	☆小沢 綾
大阪		森田 隆
鳥取		森田 礼子
香川	広報	高原 淳一
福岡		内田 博昭
佐賀		瀬尾 裕子
大分		三ヶ田智弘
熊本	事務局	下田 祐輝
会計	本部会計 特別会計	岡本美由紀 今村三奈子
監事	本部会計監査 特別会計監査	水野 敦之 原崎 知之

## 議案2 平成28年度活動報告

- 2月19日(金) 平成28年度第1回理事会(京都)
- 2月20日(土)～21日(日) コラボレーションセミナー2016(京都)
- 2月21日(日) 平成28年度総会
- 5月 機関誌『ぷらう』54号(春)発行
- 6月18日(土) 平成28年度第2回理事会(京都)
- 7月16日(土)～17日(日) 日本自閉症協会 第24回全国大会 in ながの
- 8月22日(土)～23日(日) 自閉症カンファレンス NIPPON2016 のポスターセッションに参加
- 11月19日(土)～23日(水) トレーニングセミナー2016 in 大分
- 12月 機関誌『ぷらう』55号(秋)発行

## 議案3 平成28年度会計報告、特別会計報告

### ① コラボレーションセミナー in 京都 2016 会計報告

議案3-①

TEACCHコラボレーションセミナー2016 収支報告書

1) 収入		
科目	金額	備考
参加費	¥1,152,000	会員中 ¥6,000 × 192名
参加費	¥294,000	新入会費 ¥6,000 × 49名
参加費	¥1,368,000	非会員中 ¥12,000 × 114名
運営費	¥4,500,000	H27年度 本部特別会計より
預金利息	¥697	
合計	¥7,314,697	

2) 支出		
科目	金額	備考
会場・機器使用料	¥1,007,406	シルクホール 2日間(技術スタッフ日当含む)
講師 謝礼	¥1,280,836	謝礼・航空運賃(¥1,182,636) 宿泊費(2月18・19・20・21日) (小切手振込 1200円含む)
通訳 謝礼	¥242,440	謝礼(¥200,000)・宿泊費(2月19・20日)、振込み手数料含む
事務委託費	¥704,924	参加者申し込み・宿泊手配・名簿作成・弁当手配 などの手振込代行(現金日本ツール社へ委託) 業者委託(¥164,000)振込 ¥115,000(振込) 振込手数料含む
抄録翻訳代金	¥279,540	
印刷・発送代	¥850,608	パンフレット・抄録印刷(顔色・送料含む)
送料	¥1,360	アンケート用紙・スタッフ打合せ用紙など
送料	¥249,283	後援名義申請・パンフレット送料(他研修会場など)(¥40,042) 会員・支部への抄録発送(¥209,241)
スタッフ関係費用	¥60,160	お弁当27名分=28160 交通費1日目15名 2日目12名 = ¥27,000 事務用品等購入・搬出時 駐車代(¥4,000)
実履報告者 交通費・宿泊費	¥74,450	宿泊費・交通費(実費) 大阪・東京×2・大分
消耗品	¥9,518	参加者名札・事務用品
役員関係費用	¥74,411	タクシー代・講師食事など(¥28,270)・役員お弁当(¥8,100) 飲み物・お茶菓子など(実履報告者・スタッフ分含む) (¥21,041)・記念品(¥8,000)
合計	¥4,834,936	

総収入 ¥7,314,697 - 総支出 ¥4,834,936 = 収支残高 ¥2,479,761  
残高 ¥2,479,761 は本部会計に入金します。

以上の通り、報告します。  
平成28年6月18日  
TEACCHコラボレーションセミナー2016  
会計担当 丸田 富美代

### ② 第18回トレーニングセミナー in 大分 会計報告

議案3-②

TEACCHプログラム研究会主催  
第18回 トレーニングセミナー in 大分  
会計報告書

収入	
TEACCHプログラム研究会より	500000
講演会参加費	
19日	237000
20日	329000
トレセミ	1200000
利息	1
合計	2266001

支出	
講師謝金	735000
講師旅費	464765
会場費	214200
消耗品など	439475
コトラーナーお礼	11912
コトラーナー弁当	5680
通信費	15561
保険	13700
飲食など	219314
振込手数料	3672
合計	2123279

収入-支出  
2266001-2123279 = 142722  
残額: 142,722円

以上、報告いたします。

2017年 1月27日  
TEACCHプログラム研究会 大分支部  
事務局 三ヶ田 暢美

③平成28年度会計報告

平成28年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
*会計年度 平成28年1月1日～平成28年12月31日	
<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥1,268,316
会費	¥3,333,500
利息	¥29
合計	¥4,601,845
<b>&lt;支出&gt;</b>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費) (¥460×2,176名+¥300×269名 +¥700×15+¥87876(消費税))	¥1,178,836
理事会交通費(2回分)	¥1,134,200
理事会会議費(2回分)	¥85,323
JDD年会費	¥100,000
通信費	¥160,427
自閉症カンファレンスパネルセッション派遣費	¥60,840
自閉症協会全国大会派遣費	¥34,688
支払手数料(振込手数料)	¥1,586
雑費(事務局用品・コピー代等)	¥126,377
特別会計積立金	¥500,000
合計	¥3,382,277
<b>&lt;収支&gt;</b>	
収入¥4,601,845 - 支出¥3,382,277 = ¥1,219,568	
残金¥1,219,568 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成28年2月10日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀	
平成29年2月14日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野敦之	
原崎知之	

④平成28年度特別会計報告

平成28年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
*会計年度 平成28年1月1日～平成28年12月31日	
<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥2,326,824
第5回講師招聘事業運営費戻り分	¥2,478,897
一般会計より	¥500,000
利息	¥128
合計	¥5,305,849
<b>&lt;支出&gt;</b>	
実践研究大会2017 in 神奈川 運営費	¥500,000
トレセミ2016 in 大分 運営費	¥500,000
支払手数料(振込手数料)	¥1,836
合計	¥1,001,836
<b>&lt;収支&gt;</b>	
収入¥5,305,849 - 支出¥1,001,836 = ¥4,304,013	
残金¥4,304,013 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成28年2月10日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀	
平成29年2月14日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野敦之	
原崎知之	

議案4 平成29年度活動計画(案)

- 2月 18日(土) 平成29年度第1回理事会(神奈川)
- 2月 18日(土)～19日(日) 実践研究大会 in 神奈川2017(神奈川)
- 2月 19日(日) 平成29年度総会
- 4月～ 機関誌『ぶらう』56号(春)発行
- 6月～7月 平成29年度第2回理事会(京都)
- 8月 自閉症カンファレンス NIPPON2017 のポスターセッションに参加
- 10月～ 機関誌『ぶらう』57号(秋)発行
- ※ 上記以外、他学会等での機会を得て広報活動を行う。
- ※ 上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する。

議案5 平成29年度予算案

①平成29年度 一般会計予算(案)

TEACCHプログラム研究会 平成29年度予算(案)	
議案5-①	
<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥1,219,568
会費 (¥2,000×2,176名×0.8)	¥3,481,600
入会金(¥1,000×100名)	¥100,000
合計	¥4,801,168
<b>&lt;支出&gt;</b>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所手数料) (¥460×2,200名+¥300×250名 +¥700×15+¥87,800(消費税))	¥1,185,300
コンビニ払い委託料(前期) (¥95×700名+¥500×3回×2ヶ月+¥15,000×2ヶ月)	¥99,500
コンビニ払い委託料(後期) (¥95×300名+¥500×3回×2ヶ月+¥15,000×2ヶ月)	¥61,500
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,500,000
理事会会議費(2回)	¥100,000
総務委員会交通費(1回)	¥200,000
総務委員会会議費(1回)	¥15,000
広報費(自閉症カンファレンス派遣費等)	¥100,000
JDDネット年会費	¥100,000
通信費	¥250,000
HP作成費・管理費	¥100,000
雑費(事務局用品購入など)	¥30,000
支払手数料(振込手数料)	¥5,000
予備費	¥1,054,868
合計	¥4,801,168

②平成29年度 特別会計予算(案)

TEACCHプログラム研究会特別会計 平成29年度予算(案)	
議案5-②	
<b>&lt;収入&gt;</b>	
前年度繰越金	¥4,304,013
トレセミ2016 in 大分運営費戻り分	¥100,000
合計	¥4,404,013
<b>&lt;支出&gt;</b>	
第6回講師招聘事業運営費	¥3,000,000
支払手数料	¥10,000
予備費	¥1,394,013
合計	¥4,404,013

## 議案6 TEACCH プログラム研究会会則変更について

- 事務局住所地の記載事項変更

## 議案7 その他

- コラボレーションセミナー in 京都 2018  
開催日 平成 30 年 2 月 24 日 (土) ~ 2 月 25 日 (日)

# 実践研究大会報告

<TEACCH プログラム研究会第 13 回実践研究大会 in 神奈川 2017 を終えて>

実行委員会事務局 五味純子

平成 29 年 2 月 18 日 (土)・19 日 (日) に神奈川で、「ライフステージに沿った支援」というテーマで実践研究大会を開催いたしました。参加者は、会員 106 人、1 日目の公開講座にはそれに合わせて非会員 93 名を含め 199 人の皆さんにおいでいただき、無事終了いたしました。ありがとうございました。

1 日目の公開講座は、服巻智子先生 (心と発達の相談支援 another planet 顧問/大阪大学大学院連合小児発達学研究科招聘教員) を講師にお迎えし、相模女子大学で行いました。約 3 時間に渡って、服巻先生のこれまでの長年の自閉症支援の実践を振り返りまた最新研究にも触れていただき、「自閉症の方の生涯を支援するには何が必要か」をお話しいただきました。参加された方からは、「これまでの歴史を踏まえ、自分たちのやるべきことが分かった」「服巻先生にしかできないお話を聞いて良かった」「自治体と協働していく必要性を実感した」などの感想を多くいただきました。

懇親会の参加者は、46 名と少ない人数でしたが、石川支部の笠合常任理事の発案の「絆ゲーム」で楽しく盛り上がり、内容の濃い交流ができました。

2 日目は、「ライフステージに沿った支援」のテーマにそって 3 組の方に実践発表をしていただきました。神奈川支部からは 2 題。「幼児から自立した成人期に向けての支援とは」坂口泰史氏・原秀美氏。「成人期からの視覚支援～予定伝達支援を中心に」米沢巧美氏。また熊本支部から「世界に 1 人だけのためのトリセツ」山部大喜氏・山部孝美氏・今村三奈子氏・井島愛子氏・下田祐輝氏に報告していただきました。どれも充実した内容の実践報告で、元気と勇気が湧いてくるあつという間の 3 時間でした。フロアーからは、「チームで支援することの大切さ、連携の大切さを感じた」「『自閉症を正しく理解して丁寧に支援するとはこういうことなのか』と具体的に教えてもらった」「すばらしい支援者の方々がたくさんいることに感動した」等の感想を多数いただきました。

2 日間にわたり、日本各地から、神奈川においでいただき、TEACCH プログラムを通して、自閉症支援の現在とこれからを考えるすばらしい機会になりました。

皆様のご参加とご協力に、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

<実践研究大会 IN 神奈川 参加報告>

石川支部 益本 尚子

神奈川支部のスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。心尽くしのおもてなしをしていただき、ありがとうございました。

公開講座の服巻先生が紹介されたビデオの中で、佐賀県の高校生プログラムに参加している生徒さんたちが「私たちの共通点は自閉症です」と語り、自己認知を深めている姿が非常に印象的でした。本人自身が特性と向き合い、学び、生き方を選んでいくための介入指導プログラムの力を感じました。研究機関を立ち上げ、自治体を動かし、親の会と協力して、地域を育ててこられた服巻先生のお話、これからの指標をたくさんい

いただきました。

4年前に石川支部で実践研を行ったときのテーマが「つながる」でした。今回のテーマである「ライフステージに添った支援」について、3つの貴重な実践報告をお聞きしながら、自分はこの4年間、「縦のつながり」を築いてこれだろうかと問い直す機会となりました。

夜の懇親会には私用のために参加できなかったことが心残りですが、2日間、盛りだくさんの実り多い研修となりました。

#### ＜第13回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会に参加して＞

鳥取支部 段田 太

2月18・19日と神奈川県で行われた、第13回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会に参加しました。

1日目は服巻智子先生の記念講演でした。いろいろな興味深いお話のなか、特に佐賀県での行政と一体となった先駆的な取り組みに、感銘を受けました。（言い表せないほどのご苦労があったと思いますが…）

2日目の実践報告会は、3事例でした。どの報告も大会テーマでもある「ライフステージに沿った支援」を実践された内容でした。

報告1では、重度の知的障害を伴う自閉症の方の事例でした。幼児期から専門的な方がキーパーソンになれば、本人の強みを上手に取り入れた支援をされていました。そして、学童期～成人期とスムーズに連携されていました。現在の通所施設においても、今までの支援の積み重ねにより、支援者が変わっても、落ち着いて生活されている成功例でした。

報告2も幼児期から家族、各専門家の方たちとチームを組まれた内容でした。小学校進学の際は、早くから学校見学を行い、担当の保育士が体験入学に同行するなど、きめ細やかで丁寧な支援をされていました。

報告3では、他の事例とは異なり、成人期からの介入でした。Dr. からスーパーバイズを受けながら、アセスメントを取り検証しながら支援を行っておられました。この事例では、本人の障害特性の理解と発達レベルの評価が重要で、人はいつからでも成長するのだと改めて感じました。

今大会をとおして、自閉症の方を取り巻く支援者の連携がとても大切で、いつでも成長の助けができることを改めて感じました。また、普段接している利用者さんに当てはまることも多くあり、今後の支援に繋げていこうと思いました。

私の地元である鳥取市では、33年ぶりの大雪で、毎日雪かきに追われた1週間の終わりに、まったく雪がない、暖かな場所で、心温まる大会に参加できとても良かったです。今大会の準備をしていただいた神奈川支部の皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

## トレーニングセミナー報告

#### ＜第18回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー in Oita を終えて＞

実行委員長 大分支部 三ヶ田 智弘

昨年11月に、『第18回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー in Oita』と題し、TEACCH プログラム研究会主催のトレーニングセミナーを別府にて開催させていただき、たくさんの皆様にご参加頂き、盛況の中、無事に終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

11/19に内山登紀夫先生と澤月子先生から『対応困難例』として、触法事例、強度行動障害、自殺関連行動、重度のひきこもりなどの支援方法についてのご講演と、『災害時の支援』として、東日本大震災での実際の支援などのご講演を頂きました。続いて、11/20には諏訪利明先生から『自閉症の学習スタイル』『インフォーマ

ルなアセスメント』『構造化について』についてご講演を頂き、2日間で142名の参加がありました。

また、11/20から11/23の4日間は、北は北海道から南は九州より、24名の自閉症療育者の方々を対象に実践をふまえたトレーニングセミナーも開催しました。

この5日間で、延べ約200人のボランティアスタッフの皆様にも支えて頂きながら、無事に終わることができ、重ねて御礼申し上げます。

参加された方々を代表して、トレーニー、コ・トレーナーの保護者、アシスタント、の3名の方の御感想を以下にお伝えさせていただきます。

#### <トレーニー>

奈良県立大淀養護学校 水俣 文香

管理職からの紹介があり、トレーニングセミナーがあることを知りました。本校でも自閉症スペクトラムの児童、生徒が多くを占めているので、一度TEACCHについて学んでみたいと思い受講の申込みをさせていただきました。

初日は、『自閉症の人を理解する』をテーマに諏訪先生からのご講演があり、学習スタイル、インフォーマルアセスメント、構造化について学びました。自閉症の児童生徒と関わる中で、まず大切なのは「理解、ということ」を改めて教えてもらいました。どのような見え方をしている、どんな考え方なのかなどを知った上での教育が必要だと思いました。分かっていたつもりでしたが、いろんな発見がありました。

2日目から実習をたくさんさせてもらいました。毎日、コ・トレーナーがかわって日々の成長の様子も気にはなりましたが、いろんな実態の方やトレーナーと関わる機会がありよかったです。講義で学んだことを次の日に実践できるというシステムは、分かりやすかったです。話を聞いて、なんとなく分かったつもりでも、そのまま時間が経つと忘れてしまうので、このシステムはよかったです。また、一人で考えて課題を作るのではなく、チームで協力して行えたので、考え方や見方もさまざまに勉強になりました。トレーニーの職種や立場で本当に捉え方も違って、自分1人では考えられないような意見も出て議論できたのはいい機会だったと思います。

今回学んだことを今年度の自分のクラスで生かしていきたいと思っています。自閉症スペクトラムの生徒が5人います。スケジュールが少し分かってきたかな？という芽生えの生徒たちです。この情報が自分にとって大切なこと、これを見れば分かるのだと実感してもらえよう試行錯誤しながら関わっていきたくと思っています。そのためにもアセスメントをしっかりしていきます。

4日間、いろんな地域から集まって一緒に学べたことが本当に嬉しかったです。また、企画、運営等たくさんの方々の協力があったことだと思っています。本当にありがとうございました。この学びを職場でも伝えて頑張っていきます。

#### <コ・トレーナー保護者>

大分支部 土師 真弓

このたびは、TEACCHプログラム研究会主催のトレーニングセミナー 大分に、コ・トレーナーの1人として参加させて頂けた感激と共に、心より感謝申し上げます。

このような大きな研究会に参加させて頂く事は、親子ともども本当に初めてで、ただ・ただ何事も無く最終日まで迎えられるようにと、考え得る全ての安心グッズを鞆3つにパンパンに詰め込んで当日、会場に向かいました。

初めての場所・初めての人・初めての課題、彼が1番大変だとは分かってはいても、パニックを起こしてセミナーが続けられなくなるのではないかと、本当にビクビクしながらの参加でした。そんな私の心配をよそに、あれだけ心配していた(ストレスが掛かると特に酷くなる)感覚過敏も、パニックも、夜の不眠も、行き渋りも

全く無く、こちらが拍子抜けするほど穏やかに最終日まで参加させて頂くことが出来ました。

またこのセミナー中、たった3日の間に彼は、自宅では音が嫌いで逃げ回っている掃除機の準備・使い方・仕舞い方までをマスターし、その上ペットボトル・ペットボトルのキャップ・缶・紙ごみの4種類のゴミの分別までして見せてくれました。初めて見たであろう課題も1人で取り組めていました。その間先生は、『できたね』『GOODだよ』などの声掛け以外は、黙って静かに見守っているだけでした。

後日、頂いたDVDを拝見させて頂き、どうして彼がたった3日間でこれらのことを1人で出来るようになったのか、どうして自宅では構造化していても思う様に声掛け無しにはスケジュールをこなせなかったのか、理由を知ること出来ました。

3つに区切られたカラーBOXに3つの課題。スケジュールのカードを取って、カードの順番に課題をこなしていく…。構造化ではよく使われているスタイルかと思うのですが、その課題をする中で息子は、BOX内に横向きに入っていたかごを、終わって戻す時には全て縦向きにして直していました。その彼の行動を見て緒方先生は、『BOX内の課題は次から縦向きに入れて下さい。』とアシスタント・トレーナーさんに、指示を出されていました。

自宅でもカラーBOXを使って、同じように課題をこなしてもらっています。課題が入ったカゴは、いつも横向きです。縦になっている場合は「横にしてね…」と指示を出して直してもらっていました。でもこの横向き…。彼に聞くこともなく私が勝手に決めたことでした。《その方がBOXにカゴの納まりがよかった》という理由で…。でも、もしかしたら彼にとってはBOXにカゴを横向きに入れる・入れられることは、とても取り出しにくく、ストレスを感じていたのかもしれない。

先生は、課題であっても何であっても彼自身の持つ特有の感覚・こだわり・彼自身が作ったであろう決め事までも、課題や空間の中にまで取り入れて、彼のために、本当の意味で構造化された場所を書ききれない程の沢山の技術を使って作り上げて下さっていました。

例えば私が彼のために…と、どんなに沢山の課題を用意してみても、少しでも伝わりやすいように…と、自分が考え得る精一杯で構造化された空間を作ってみたところで、その全てが作り手である私に合わせた構造化であるならば、使う側の彼にとっては何とも使いづらい意味の伝わりにかかったものに違いないと今では分かります。色々なことを見返してみると、声掛けが無いと上手くスケジュールをこなせていなかったのも、私本位の構造化で在ったためでは…、と思います。その上、課題に至っては『彼にはその課題がまだまだ出来ないもの』として認識してしまっていました。

緒方先生は、私自身の所為で過小評価されてしまっていた彼の能力を最大限引き出して私に見せて下さいました。そのギャップの大きさに、彼には申し訳なくもあり同時に、とても嬉しくもありました。彼に合った構造化で取り組むことで、例えば初めての場所であっても、人であっても、見通しを持って最小限の指示で行動することが出来ると教えて頂けたからです。

自宅でも、少しずつではありますが、彼にとっての構造化された場所になるよう、相談しながら、観察しながら作り変え始めています。手指訓練の課題1つにしても、天候によっては集中しづらく、また身体的な感覚も鈍くなるようで、困難を感じている姿に気が付くことが出来ました。課題に関しても、本人に選択してもらいながら取り組んでいけるようにしました。

DVDの中には、今の私にはまだまだ気が付く事もできない技術が、沢山あるだろうことと思います。それを少しでも紐解きながら、今後はそこに気付ける自分になれるように、日々精進していきたいと思っています。ありがとうございました。

#### <アシスタント>

特定非営利活動法人 滋賀県脊髄損傷者協会  
障がい者サポートセンター スマイルフレンズ  
前野 篤史

はじめまして。滋賀県草津市にあります、障がい者サポートセンタースマイルフレンズ（居宅介護事業所）の前野篤史と申します。この度ご縁あって、平成28年11月20日～23日に大分県別府市で開催されま

した、トレーニングセミナーに成人グループのアシスタントとして参加させて頂きました。

僕自身、4daysのトレーニングセミナーのアシスタントは初めての経験で、毎日が緊張と不安の連続でした。そんな気持ちを楽しさに変えてくださったのは、コ・トレーナー（モデル）の方、トレーニー（受講生）の方々、トレーナーの先生方、他グループのアシスタント・サブアシスタントの方々、そしてトレーニングセミナーを支えてくださっていた多くのスタッフの方々の存在であり、一緒に学ばせて頂いた時間でした。

特にコ・トレーナーの方は、初日こそ緊張されていたように思いますが、過ごす時間を重ねることで表情も和らがり、また、PLAN-DO-SEEを忠実に実践することでどんどん成長されていられました。4日間を通してコ・トレーナーの方と一番近くでかつ一番長い時間を過ごすことができたアシスタントであったからこそ、その姿を目の当たりにすることができたと思っています。

またトレーナーの先生方は、諏訪利明先生、中山清司先生、安倍陽子先生、緒方よしみ先生、松尾浩久先生という、普段滅多にご一緒できない先生方で、毎日の全体ミーティングでは他グループ（幼児・学童・高校生）の実践を通して先生方の助言や指導を直に耳にすることができ、非常に勉強になりました。印象に残っているのは、「自閉症スペクトラムの方々の支援生涯支援であり、成人を支援するには児童の支援を知る必要があり、児童の支援をするには成人の支援を知る必要がある」ということです。普段、ヘルパーという立場で小学生～50歳台という非常に幅広い年齢の方々の生活支援や余暇支援等に携わっており、トレーニングセミナー後はこの言葉を意識して支援に携わるようになりました。

今後も、自分自身が更にスキルアップできるよう、今回のようなセミナーや研修に積極的に参加し、自閉症スペクトラムの方への支援に携わっておられる方々とのネットワークの輪を広げていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回のトレーニングセミナーの関係者の皆様、非常に有意義で勉強になる場に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

# 各支部活動計画

## <北海道支部>

### 1. 会議（支部関係）

場所：北海道発達障害者支援センターあおいそら／北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成 29 年度 北海道支部総会	1. 17	平成 28 年度事業報告 決算報告 監査報告 平成 29 年度事業計画（案） 予算（案）他
第 1 回運営委員会	2. 28	企画研修会について
第 2 回運営委員会	5. 9	企画研修会について
第 3 回運営委員会	7. 4	企画研修会について
第 4 回運営委員会	9. 12	企画研修会について・来年度計画について
第 5 回運営委員会	11. 7	来年度計画について・平成 30 年度総会について

※平成 30 年度支部総会は、H30. 1. 16（火）開催予定

### 2. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第 1 回	1. 17（火）	「インクルージョンと ABA」 ※会員限定	星槎大学 西永 堅 氏
第 2 回	2. 21（火）	学習会「TEACCH 自閉症プログラム視察報告会」 ※会員限定	あおいそら 庄司晋理氏・塩原あかね氏
第 3 回	5. 30（火）	学習会「TEACCH の歴史と現在・ASD 特性と構造化」 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第 4 回	5. 20（土）	「自閉症支援ワークショップ 5 日間コース 実践報告会」 共催企画 ※オープン参加	川崎医療福祉大学 諏訪 利明 氏
第 5 回	8. 29（火）	「自閉症支援ワークショップ 5 日間コース 公開講座」 共催企画 ※オープン参加	未定
第 6 回	未定	自閉症援助技術研究会との共催企画	未定
第 7 回	9. 24（日） ～9. 25（月）	学習会「自閉症と生命保険（仮）」 共催企画 ※オープン参加	ライフプラザパートナーズ 原 博幸 氏
第 8 回	11. 11（土）	講演会「女性自閉症者への支援（仮）」 ※オープン参加	川崎医療福祉大学 小田桐 早苗 氏

### 3. 支部会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	2月上旬	■平成29年度総会報告 ■学習会案内 他
第2報	4月	■学習会報告 ■学習会案内 他
第3報	4月	■ぷらう（本部会報）
第4報	6月上旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第5報	10月上旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第6報	10月	■ぷらう（本部会報）
第7報	11月下旬	■学習会報告 ■総会案内 他

## ＜石川支部＞

日時	支部主催の 事業内容	演題 講師	会場	会報	運営 委員会
1月22日 9:30～12:00	総会 講演会	「カラフルな子どもたちと共に」 中田 眞知子 氏 (ヴィテンSMC保育園園長)	金沢市教育プラザ	○	○
3月26日 9:30～12:00	第68回 例会	「保育園におけるセカンドステップの試み」 谷口 亘 氏 (能美市子ども発達支援センター)	金沢市教育プラザ	○	○
4月23日 9:30～12:00	講演会	「幼児期から成人期の生涯にわたる子育てと 支援について」 津田 明雄 氏 (静岡県自閉症協会会長)	石川県地場産業振興 センター	○	
5月14日 9:30～12:00	自閉症 講座	自閉症基礎講座2回コース① 笠合 竜明 氏 (相談支援事業所「きずな」相談支援専門員)	金沢市教育プラザ	○	○
6月18日 9:30～12:00	能登例会	「ライフステージと地域特性に添った関わり」 田中 康雄 氏 (こころとそだちのクリニックむすびめ)	奥能登行政センター 生涯学習センター	○	
7月9日 9:30～12:00	自閉症 講座	自閉症基礎講座2回コース② 笠合 竜明 氏 (相談支援事業所「きずな」相談支援専門員)	金沢市教育プラザ	○	○
9月10日 10:00～12:00	講演会	「ありのままに そのひとらしく」(仮) 小道 もこ 氏 (「あたし研究」著者 当事者)	石川県地場産業振興 センター	○	
10月1日 9:30～12:00	第69回 例会	実践報告 保護者	金沢市教育プラザ	○	○
11月12日 9:30～12:00	第70回 例会	実践報告 木崎 伸子 氏	金沢市教育プラザ	○	○

\*12月 金沢医師会講演会・共催予定

## ＜東京支部＞

月	日	曜日	支部主催の事業・内容・講師	会報誌発行など	総会・世話人会など
1月	15日	日	基礎講座 冬 「評価・コミュニケーション」 講師：中山清司先生 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター		
3月	19日	日	講演会 ① 「青年期・成人期の自閉症スペクトラムのカウンセリング」 講師：内山登紀夫先生 ② 「ソーシャルメディアリテラシーを考える～発達障害を持つ方とIT、ゲーム機との適切な付き合い方とは？～」 講師：木立伸也先生会場 会場：全水道会館	支部会報誌 NO. 26 「FUN!FUN!FUN!」 発行	総会
6月	4日	日	事例検討① 講師：黒田美保先生 会場：きゅりあん		役員会
8月	6日	日	ワークショップ（8月5日準備日） 講師：黒田美保先生 会場：多摩永山情報教育センター		
9月	3日	日			役員会
10月	15日	日	基礎講座 秋 ① 「TEACCH 概論」 講師：黒田美保先生 ② 「自閉症の特性・構造化」 講師：中山清司先生 会場：TKP 新宿カンファレンスセンター		
11月	19日	日	事例検討② 講師：黒田美保先生 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター	支部会報誌 NO. 27 「FUN!FUN!FUN!」 発行	役員会

## ＜神奈川支部＞

日時	内容	ご案内
2月18日（土） 19日（日）	第13回 TEACCH プログラム研究会 実践研修大会 IN 神奈川 2017	相模女子大学 ユニコムプラザさがみはら
4月9日（日） 13:00～15:30 15:45～16:00	【講演会】「自閉症の文化を学ぼう」 講師 諏訪 利明（代表） ◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会	柳橋ふれあいプラザ 第1集会室
5月19日（金） 19:00～20:30	【研修会】「評価について～評価方法の実際～」	県央福祉社会会議室
6月16日（金） 19:00～20:30	【研修会】「評価の実際①」	県央福祉社会会議室

7月21日(金) 19:00~20:30	【研修会】「評価の実際② ～CARS(小児自閉症評定尺度)を使って～」	県央福祉社会会議室
9月15日(金) 19:00~20:30	【研修会】「構造化について」	県央福祉社会会議室
10月20日(金) 19:00~20:30	【研修会】「コミュニケーションについて」	県央福祉社会会議室
11月4日(土) 5日(日)	【ワークショップ】 詳細が決まり次第お知らせいたします。	未定
12月3日(日) 13:30~16:30	【講演会】「TEACCH再考」 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザさがみはら

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※基本の研修会については、**参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円**です。

講演会の参加費については、**参加費 会員 1,000 円、非会員 3,000 円**です。

ワークショップの参加費等については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

<主な会場> 社会福祉法人県央福祉会 法人会議室

神奈川県大和市中心 2-3-19 ウエスト・ビルディング 4F (小田急・相鉄「大和」駅西口を出て 徒歩 5 分)

<研修会等の内容・日程の変更・活動報告等の最新情報はブログ等でご確認ください。>

◆TEACCH プログラム研究会ブログ <http://TEACCH-kanagawa.blogspot.jp/>

◆Facebook ページ <https://www.facebook.com/TEACCHKanagawa/>

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局  
〒242-0006 神奈川県大和市南林間 5-1-24 1号棟  
児童発達支援事業 松ぼっくり内 山田  
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-240-1008  
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

## < 愛知支部 >

月	日	支部主催の事業・内容・講師	共催 後援事業	会報 発行	総会など
1				会報	世話人会
2	5	講演会「支援の基本は、その人を良く知ることから ～アセスメントの最前線について～」 講師：黒田 美保氏(名古屋学芸大学 教授)			総会 世話人会
3					
4					世話人会
5	21	講演会「TEACCH から学ぶ 自閉症の理解と支援 2017」 講師：諏訪 利明氏(川崎医療福祉大学 准教授)			世話人会
6					

7	23	実践報告会：「自閉症の人の暮らし、居住空間について考える」（仮） 講師：徳穂 氏（社会福祉法人くるみ会）		会報	
8					
9	未定	講演会「就労について」（仮）			
10					
11	未定	講演会「行動障害と薬物療法について」（仮） 講師：			
12					

## ＜山梨支部＞

本年度も、実践的な知識やスキルを習得したいという現場の要望に応え、かつ昨年度の実技研修での経験や反省も踏まえて、現任職員向けの研修の充実度向上に注力します。

### 【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	1月28日（土）	①今年度活動計画について ②総会準備
総会	1月28日（土）	①事業活動・決算報告 ②事業計画・予算案 ③その他（DVD上映会）
第2回 運営委員会	3月21日（火）	講演会の準備 等
第3回 運営委員会	7月	研修全般の準備、本部理事会報告 等
第4回 運営委員会	10月	研修全般の準備、見学会・勉強会の進捗 等
第5回 運営委員会	12月	年度振返り、総会準備 等

### 【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
講演会	4月9日（日）	TEACCH 基礎講座 12 信州大学教授 本田秀夫先生
現任職員向け研修	年1回開催予定 （時期未定）	「テーマ未定」
幼稚園職員向け研修	11月4日（土）	「幼稚園・保育園の先生たちの基礎講座 PART4」 横浜市東部地域療育センター 安倍陽子氏
施設見学	5月23日（火） 時期未定	・横浜やまびこの里 ワークアシスト ・松戸育成会（予）
外部イベント	2月18-19日 8月20-21日	・実践研究大会（神奈川） ・自閉症カンファレンス ・トレーニングセミナー

ミニ勉強会	毎月1回開催 7月頃開催予定	・みんなで考える ASD 支援 ・トレセミ経験者を中心とした勉強会（幼稚園職員）
出前講座	随時開催予定	

## ＜滋賀支部＞

今年度も、年度の前半には滋賀県発達障害者支援センターのご協力をいただき、自閉症スペクトラムの基本的な特性理解と支援について学ぶ連続講座を開催します。自閉症スペクトラムの方の支援は初めて、という方だけでなくご自身の支援を振り返りたい方にも役立つ内容となることと思います。皆さんお誘いあわせの上、多数、ご参加ください。

また8月には、実践を踏まえた自閉症支援についての講演会、9月以降は恒例の事例検討会を予定しています。応用編としてご参加いただき、さらに学びを深めましょう。

### 例会Ⅰ～Ⅲ 連続講座「自閉症スペクトラム支援の基礎講座」

講師：滋賀県発達障害者支援センター スタッフ

例会Ⅰ 4月28日（金） 「自閉症スペクトラムの特性理解」

この日は例会終了後に滋賀支部年次総会を開催します。会員の方はご予約ください。

例会Ⅱ 5月26日（金） 「構造化の支援」

例会Ⅲ 6月23日（金） 「コミュニケーションの支援」

◇時間：午後7時～8時50分 ◇場所：コミュニティセンターやす（滋賀県野洲市小篠原 2142）

夜間は裏口から出入りしてください。

### 例会Ⅳ 講演会「学校教育の現場から（仮題）」

講師：京都府立向日が丘支援学校教諭 野畑 光代 氏

日時：8月26日（土） 午後1時半～4時

場所：未定（決まり次第、Facebook、ブログでお知らせします）

\*野畑先生は長年、京都府の特別支援学校で自閉症の生徒の支援に尽力されるとともに、TEACCH 研京都支部、自閉症協会京都府支部等で、研修会講師としても活躍されています。今回は、学校現場での支援について、先生の豊富な経験からお話しいただく予定です。学齢期の支援者だけでなく成人期の支援者にとっても、明日からの実践に役立つ講演会になることと思います。

### 例会Ⅴ～Ⅶ 事例検討会

【氷山モデルを用いて自閉症スペクトラムの人の「困った行動」の水面下を探り、支援を考えます】

例会Ⅴ：9月29日（金） 例会Ⅵ：10月27日（金） 例会Ⅶ：11月24日（金）

◇時間：午後7時～8時50分 ◇場所：コミュニティセンターやす（滋賀県野洲市小篠原 2142）

（夜間は裏口から出入りしてください）

◇各回の事例の概要は1週間前をめぐりに Facebook、ブログでお知らせします。

参加費：いずれも会員無料、会員外1回500円 事前申し込み：不要（単発参加も可）

お問合せ：滋賀支部事務局 FAX 077-562-8980 E-Mail [teacchshiga@yahoo.co.jp](mailto:teacchshiga@yahoo.co.jp)

Blog: <http://blog.ne.jp/teacchshiga> Facebook: <http://www.facebook.com/teacchshiga>

## ＜京都支部＞

### TEACCH とは

TEACCH とは、1960 年代よりアメリカ・ノースカロライナ州で発展してきた自閉症の人たちのための生活支援制度で、自閉症の人たちに彼らを取り巻く環境の意味を伝え、意味のあるコミュニケーションをしながら、彼らとの共存世界を目指そうとするプログラムです。それは自閉症の特性理解に大きな礎を置くもので、今や世界中に知られ、また実際に応用される場所となつています。

### TEACCH プログラム研究会

TEACCH プログラム研究会は、「会の仲間で相互に研修し合う」ことを大切にしており、2014 年 7 月現在、北は北海道から南は熊本まで、全国 15 の支部が活動中です。研究会としての方向性・一貫性を保つために本部を置き、会全体の事業の企画・運営に当たっています。本部主催の活動は、隔年で行うコラボレーションセミナー（アメリカ TEACCH 部より講師を招聘）と実践研究大会、トレーニングセミナー、機関誌「ぷらう」の発行があります。支部ごとに例会、講演会、セミナー等、独自の活動も活発に展開されています。

### 研究会の理念

- ・ TEACCH に学び、自閉症の人たちの文化を大切にしながら手をつなごう。
- ・ 同じように、彼らをサポートする人たちも、互いを尊重しながら手をつなごう。
- ・ 他の政治的要素等をネットワーク内に持ち込まないようにしよう。
- ・ できないと最初からあきらめず、身の回りのできることから始めよう。



このような TEACCH プログラム研究会の理念・趣旨にご賛同くださる方、ご入会を心よりお待ちしております！

入会金 1000 円、年会費 4000 円です。年会費は半分ずつ、本部と支部の活動費に充てられます。

2017 年度のコンセプトは「TEACCH の基礎を皆で学ぼう！」

“改めて” の方も “初めて” の方も、どうぞ一緒に！

1 月 21 日（土）	講演会	『障害者差別解消法施行からもうすぐ 1 年、あらためて考えよう 合理的配慮』 門 眞一郎 氏（児童精神科医、京都市児童福祉センター副院長）
5 月 27 日（土）	例会	基礎を皆で学ぼう！① DVD を見て、意見交換や実践報告などしませんか？
7 月 1 日（土）	例会	基礎を皆で学ぼう！② DVD を見て、意見交換や実践報告などしませんか？
9 月 9 日（土）	例会	『TEACCH 入門』 村松 陽子 氏（児童精神科医、京都市発達障害者支援センター長）
11 月 25 日（土）	例会	基礎を皆で学ぼう！③ DVD を見て、意見交換や実践報告などしませんか？

- DVD は、『親と教師のための自閉症の人が求める支援』『わかる・できる！親と教師のための自閉症の子どもの自立課題』などを取り上げます。個人ではなかなか揃えて購入することが難しいという方、この機会にぜひ一緒に見て、学びましょう！

時 間：13 時 30 分～16 時 30 分 ※5 月は 10 時～12 時

会 場：京都社会福祉会館 〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る  
（二条城北側）

参加費：例会は、会員は無料、会員外の方は参加費 500 円

事前申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。



↑ 会場アクセス

※ 5月以降の例会は、日程等変更になる場合があります。  
参加される前に、TEACCHプログラム研究会京都支部のブログで  
お確かめください。 <http://kTEACCH.blog.fc2.com/>



↑ 支部ブログ

※ 各種お問い合わせは、支部メールアドレスまでお願いいたします。  
kTEACCH@gmail.com

## ＜大阪支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催 後援事業	会報の 発行	総会、世話 人会など
1月						運営 委員会
2月						
3月						
4月						
5月	13(土)	14:00 ～16:30	例会「ASDの特性理解とTEACCHプログラムについて」 新澤 信子 氏			総会
6月	10(土)	14:00 ～16:30	公開講座「TEACCHはじめの第一歩～ トレセミで学ぶこと～」 諏訪 利明 氏		いまあじゆ 発行	
7月	8(土)	14:00 ～16:30	公開講座「高次脳ASDの理解と支援の 最前線」 内山 登紀夫 氏			
8月						
9月	16(土)	14:00 ～16:30	例会「実践報告 幼児期・学齢期」 Bonキッズ職員 氏 濱瀬 享也 氏			
10月	14(土)	14:00 ～16:30	例会「実践報告 青年期・就労」 星明 聡志 氏 大澤 佳代子 氏			
11月	23(祝・木)	14:00 ～16:30	公開講座「ASDの就労支援」 梅永 雄二 氏			
12月	16(土)	14:00 ～16:30	例会「児童生徒の食に関する課題への 支援」 倉澤 茂樹 氏		いまあじゆ 発行	運営 委員会

参加費：TEACCHプログラム研究会会員・学生・家族会員は無料。非会員は1,000円（公開講座は2,000円）  
会 場：大阪府社会福祉会館

## ＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報の発行	総会、世話人会など 役員会 総会
1月	29日(日)					
2月						
3月	21日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 研修報告 (実践研究大会 IN 神奈川)			
4月	18日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 実践報告(明日葉)			
5月	16日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 構造化			
6月	20日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 実践報告(あさひ園)	鳥取県自閉症協会 総会記念講演会		
7月	18日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 実践報告(つむぎ)	自閉症・発達障がい 基礎講座		
8月	22日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 事例検討会 (コミュニケーション)			
9月	19日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 事例検討会 (余暇)			
10月	17日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 事例検討会 (感染症予防)			
11月	未定		講演会			
	21日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 事例検討会 (一般就労にむけて)			
12月	19日(火)	18:45～ 20:00	【鳥取定例会】 座談会・次年度計画			

【境港定例会】特定非営利活動法人陽なた (0859) 57-6240

【鳥取定例会】特定非営利活動法人スペル (0857) 50-0631

## ＜香川支部＞

日時	内容	講師
3月19日(日) 10:00～12:00	支部会員総会 実践研究大会 参加報告	高原淳一 氏 (香川大学教育学部附属特別支援学校)

4月23日(日) 10:00~12:00	発想を変えて観る ~視点を変えると暮らしの アイデアが浮かぶ~	丸岡玲子氏 (NPO法人ふぁみりい NOTE)
5月21日(日) 10:00~12:00	TEACCHプログラムの基本	池上勝治氏 (香川県立高松養護学校)
6月18日(日) 10:00~12:00	続けていくこと ~支援とともに~	山田さゆり氏 (NPO法人明日に架ける橋)
7月23日(日) 10:00~12:00	発達障害のある子どもへの支援	越智早智氏 (香川県立高松養護学校)
8月20日(日) 10:00~12:00	実践紹介 ~特別支援学校での取組~	高原淳一氏 (香川県立香川中部養護学校) 他
10月15日(日) 14:00~16:00	公開講演会 (タイトル未定)	坂井聡氏 (香川大学教育学部 教授)
11月19日(日) 10:00~12:00	地域での発達支援 ~まんのう町「早期教育支援 センターたむ」の取組~	馬場広充氏 (早期教育支援センターたむ)
12月17日(日) 10:00~12:00	座談会: 自閉症への支援Q&A	繪内利啓氏 (えないメンタルクリニック)

### <福岡支部>

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
1月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状 送付		
2月27日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 施設での実践 報告者: 川原孝幸氏・内田博昭氏	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
3月8日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定)	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
4月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状 送付		
5月21日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者: 募集	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
6月14日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
7月16日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者: 募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
9月13日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状 送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

10月15日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告： 報告者：募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい者 支援センター)	西南学院大学
11月8日(火) 18:30~20:00	○ODVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
12月17日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演(タイトル未定) 講師：未定 ○平成28年度総会	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。  
※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。

### ＜佐賀支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催・ 後援事業	会報 発行	総会 世話人会
1	21	9:30 ~ 11:30	定例学習会「行動について」 講師：中山 政弘先生 会場：ほほえみ館 視聴覚室			総会
2	25	9:30~ 12:00	定例学習会「事例検討会」 インシデントプロセス法を用いて (特別支援学級・特別支援学校の事例) 会場：佐賀市アバンセ			
3	11	13:30~ 16:00	公開講座「応用行動分析 ABA 入門講座」 講師：ABC 研究所 今本 繁氏	発達障害者支援 センター共催		
4	1	13:00~ 16:00	自閉症啓発デー 佐賀県自閉症協会ダンス部によるダンス DVD上映会「自閉症の子供たち」 公開講演会「発達障害のある子どもの住まいの工夫」 講師：一級建築士 西村 顕氏	自閉症協会共催		
	29	9:30~ 16:00	From A village セミナー「いま、改めて、TEACCH OR とは」 講師：オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー 服巻 智子氏 川崎医療福祉大学 諏訪 利明氏	From A village 共催		
5	21	9:30~ 11:30	定例学習会「自閉症の特性と構造化の支援」① 講師：オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー 服巻 智子氏 会場：佐賀市文化会館			
6	17	9:30~ 11:30	定例学習会「自閉症の特性と構造化の支援」② 講師：another planets 納富 奈緒子氏 会場：佐賀市文化会館			
7	15	9:30~ 11:30	定例学習会「自閉症の特性と構造化の支援」③ 講師：オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー 服巻 智子氏 会場：佐賀市ほほえみ館		ぷらう 発送	

8	26	9:30～ 11:30	定例学習会「事例検討会」 インシデントプロセス法を用いて 幼児期・学齢期 (特別支援学級・特別支援学校)から 会場：佐賀市アバンセ			
9	16	9:30～ 11:30	定例学習会「コミュニケーションと関係性の支援」 講師：another planets 本村 亜希子氏 会場：佐賀市ほほえみ館			
10	21	9:30～ 11:30	定例学習会「発達支援の現場から」 講師：それいゆ 野間 康美氏 会場：未定			
11				共催予定	ぷらう 発送	
12	16	9:30～ 11:30	定例学習会「感情コントロールについて」 講師：オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー 服巻 智子氏 会場：未定			世話人会

## ＜大分支部＞

日時	会場	テーマと講師
1月28日(土)	大分こども療育センター	基礎講座① テーマ：通級指導教室「スマイル」の学習支援について 講師：高倉 和子氏 (大分市立鶴崎小学校 LD・ADHD 通級指導教室担当 教諭)
2月18日(土) -19日(日)	神奈川県	実践研究大会 IN 神奈川 2017
5月14日 (10時-11時30分)	大分こども療育センター	基礎講座② テーマ：自閉症をもつ人の老後を考えるヒント 講師：三ヶ田 暢美氏(大分こども療育センター)
6月11日(日) (10時-16時)	大分こども療育センター	講演会① テーマ：第1部 個に応じた自閉症支援のアイデア 第2部 地域の資源を活かす支援 講師：笠合 竜明氏(TEACCHプログラム研究会 石川県支部長)
7月23日(日) (10時-12時)	大分こども療育センター	講演会② テーマ：ASDの方への性教育の実践 講師：岩田 昌子氏(発達障害者支援センター あおいそら)
9月10日(日) (10時-12時)	大分こども療育センター	基礎講座③ テーマ：自閉症の基本的理解と支援(仮) 講師：三ヶ田 智弘氏(大分こども療育センター)
11月3日(金) 文化の日 (10時-16時)	大分県教育会館	講演会③ テーマ：親なき後の支援(仮) 講師：志賀 利一氏(国立のぞみの園研究部 部長) 講師：梅永 雄二氏(早稲田大学教育学部教育心理学専修教授)

\*基礎講座の時に、大分支部理事会開催予定。

## ＜熊本支部＞

※日程、内容などは変更する場合があります。会場は、その都度ご案内いたします。

期 日	研修内容・講師		備 考
1月21日(土)	支部総会	総会	
	特別講演	内容「自閉症の子どもを支援する ～支援の実例に学ぶ～」 講師 中山 清司氏 (オフィスぼん代表 天才塾 bon 塾長)	H29年度 会費納入 (～2/29)
4月15日(土) 予定	基礎講座	内容『自閉スペクトラム症の特性について』(仮)	*定例運営委員 会は、 <u>毎例会前 後を予定。</u>
調整中	特別講座	内容『当事者の思いを知る』(仮) 講師 当事者(ソルトさん)	
10月21日(土) 予定	実践報告	就労支援に関わる実践報告(仮)	
平成30年1月	平成29年度 支部総会 講演会	総会・講演会	

★事務局のご案内★

＜城南学園内 TEACCH プログラム研究会熊本支部事務局 (井上・北垣) ＞

e-mail : [jogaku10seikatukaigo@citrus.ocn.ne.jp](mailto:jogaku10seikatukaigo@citrus.ocn.ne.jp) /Fax 0964 (28) 5112 (送信票不要)

(お問い合わせはeメールまたはFax をお願い致します。電話での受付は業務上できません)

# TEACCH コラボレーションセミナー

## 2018

### 《 成人期の支援 ～TEACCHの最新のアプローチ～ 》

6回目のコラボレーションセミナーは、TEACCHの新しいディレクターであるローラ・クリンガー先生をお迎えして、「成人期の支援 ～TEACCHの最新のアプローチ～」をテーマとして開催することになりました。1日目にクリンガー先生からTEACCHの新しい情報をお話いただいた後、2日目は日本のTEACCH研のメンバーの実践について意見交流します。

このセミナーは会員外の方の参加も可能です。また、この機会に入会していただくと会員価格で参加していただくこともできます。会員の方はもちろん、非会員のかたにもお声かけいただき、貴重な機会を共有できればと思います。

講師： **ローラ・クリンガー 氏**

(TEACCH Autism Program エグゼクティブディレクター)

日程： **2018年2月24日(土) / 25日(日)**

会場： **京都烏丸コンベンションホール**

(京都市営地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車)

※前回と会場が異なります。近隣ですので下車駅は同じです。

参加費： **会員 8,000円 一般 14,000円**

※ 新入会の方は、入会金 1,000円、年会費 4,000円、会員参加費 8,000円をあわせて 13,000円になります。

### プログラム

#### ■1日目 講演 『成人期の支援 ～TEACCHの最新のアプローチ～』（仮題）

就労、大学生生活、居住生活などへの支援について、TEACCHの最新のアプローチについてお話しいただきます。

#### ■2日目 実践報告とディスカッション

TEACCH研の会員から、青年期・成人期の自閉症スペクトラムの人たちへの支援について、日本の実践を報告し、クリンガー先生を交えて情報や意見の交換を行います。

詳細は、2017年秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく！